

332 子育て環境の整備

33201 保育サービス等の充実

(主担当:保健衛生室 企画福祉課)

主な取組内容

1. 放課後児童クラブの設置を促進するなど、地域のニーズにあった放課後児童対策を推進します。
2. 仕事と子育ての両立を支援するため、延長保育、低年齢児保育、休日保育、一時保育、障害児保育などの多様な保育ニーズへの対応を促進します。
3. 保育所が、地域における子育ての専門機関としての機能を発揮し、多様なニーズに対応できるよう多機能保育所の整備を促進します。

1 保育所

保育所は、保護者が就労したり、あるいは疾病にかかるなどのため、家庭において保育することができない児童を、保護者にかわって保育することを目的とする児童福祉施設である。近年、保育需要の多様化により、延長保育、障害児保育等の特別保育事業を実施している。また、在宅乳幼児の子育て支援としての期待に対しても応えようと、相談や、園庭の開放を行っている。

平成18年4月1日現在

市町村名	施設数	定員	入所児童数	年齢別内訳				整備率(%)	へき地保育所
				0歳	1～2歳	3歳	4歳以上		
伊賀市	36	3,085	2,752	60	645	627	1,420	61.0	—
名張市	15	1,365	1,354	27	357	308	662	32.7	2
計	51	4,450	4,106	87	1,002	935	2,082	48.2	2

整備率＝保育所定員／学齢前児童数

2 子育て支援

平成18年4月日現在

放課後児童クラブ		伊賀市、名張市
多様な保育ニーズへの対応	低年齢児保育	伊賀市、名張市
	延長保育	伊賀市、名張市
	休日保育	伊賀市、名張市
	障害児保育	伊賀市、名張市
	家庭支援推進保育	伊賀市、名張市
在宅支援	地域子育て支援センター事業	伊賀市、名張市
	一時保育	伊賀市、名張市

3 管内の児童福祉施設(保育所を除く)の状況

平成18年4月1日現在

施設の種別	施設名	市町村名	定員	現員
助産施設	森川病院	伊賀市	38	0
養護施設	名張養護学園	名張市	51	38
知的障害児施設	名張育成園児童寮	名張市	40	35
障害児デイサービス事業施設	療育センター どれみ	名張市	10	4
			10	7
	なちゅ	名張市	15	2
児童館	伊賀市しろなみ児童館	伊賀市	—	—
	伊賀市まえがわ児童館	伊賀市	—	—
	伊賀市老川児童館	伊賀市	—	—
	比奈知児童館	名張市	—	—
	一ノ井児童館	名張市	—	—
	名張市こども支援センター かがやき	名張市	—	—

就学前
就学後

33203 母子保健対策の推進

(主担当:保健衛生室 地域保健課)

主な取組内容

- 母子保健の2010年(平成22年)までの国民運動計画である「健やか親子21」を県民運動として展開するため、「健やか親子21in伊賀」を策定し、親と子の総合的な健康づくりに取り組みます。
- 周産期医療情報ネットワークの構築により、妊娠から出産、乳幼児期にいたるまで高度で専門的な医療を提供できるよう努めます。
- 新生児を対象とした種々のマス・スクリーニング検査の実施、乳幼児、未熟児、思春期を対象とした専門的なサービスの提供や養育医療等を必要とする児童に対して経費の負担等を行います。
- ハイリスク児の養育支援や市町村支援、研修等、虐待予防に視点をおいた機能強化に努めます。

1 母子保健事業

母性及び乳幼児の健康の保持増進を図るため、市町村の母子保健事業の支援、母子保健にかかる専門的業務の実施、広域的な母子保健施策の推進に努める。

(1) 保健指導事業

未熟児、小児慢性特定疾患及び養育医療受給者等とその家族に対して、関係機関との連携を図りながらQOL(生活の質)の向上を目指して個別支援を実施した。

家庭訪問延件数	71件
相談延件数 (面接・電話)	143件

心身ともに発達や変化の大きい思春期の児童・生徒等に対して、性や健康に関する情報の提供及び保健指導を実施した。

電話相談延件数	11件
---------	-----

(2) 健やか親子支援事業

親と子が健やかに暮らせる地域社会づくりを目指し、「健やか親子いきいきプランみえ」を推進していく中で、①妊娠出産の安全性と快適性の確保や不妊への支援、②子どものこころとからだの健やかな発達の支援、③安心できる小児保健医療体制の環境整備、④思春期の保健対策の強化と健康教育の推進について、各ライフステージを通じて総合的に支援していくことを目的とした。

ア 心身の発達に問題をかかえる子どものフォローアップ

	年月日	場所	内容	参加者
グループ支援	H17.7.30 H17.9.5 H17.10.29 H18.1.23 H18.2.25	名張市保健センター	軽度発達障害児保護者懇談会	軽度発達障害児を持つ親 延46名
研修会	H17.10.28 H18.2.24	伊賀庁舎	軽度発達障害児事例検討会 助言者:初雁の家施設長 久保 義和氏	教育・保育・保健関係職員 延110名
	H17.7.30	伊賀庁舎	講演会「軽度発達障害をもつ子ども達への理解と支援」 講師:初雁の家施設長 久保 義和氏	教育・保育・保健関係職員 104名
ネットワーク会議	H17.4.21 H17.6.16 H17.9.22 H18.1.25	伊賀庁舎他	軽度発達障害児支援ネットワーク会議	教育委員会、伊賀市 名張市保健関係職員 社会生活支援センター職員 等 延40名

イ 児童虐待予防ケア

	年月日	場所	内 容	参加者
グループ支援	年10回	名張市保健センター	MCGグループミーティング	育児不安の強い母親 4組
研修会健康教育	H17.7.14	伊賀庁舎	講演会「産後の母親のメンタルヘルスと育児支援」 講師 九州大学医師 山下 洋氏	医療機関職員、市母子保健担当者、県母子保健担当者等 38名

ウ 思春期保健

	年月日	場所	内 容	参加者
研修会健康教育	H17.12.12	県立上野工業高校	講演会「エイズを含む性感染症予防について」 講師：市保健師・保健福祉部保健師	高校生 193名
	H17.12.19			
連絡調整会議	H17.11.15	伊賀庁舎	事業連絡調整会議	健康教育依頼校担当者
	H17.12.2			

エ 母子保健体制の整備

	年月日	場所	内 容	参加者
ネットワーク会議	H18.2.22	伊賀庁舎	管内母子保健担当者会議 講話「軽度発達障害児支援における保健師の役割について」	市保健師・主任児童委員 18名

(3) 各種医療給付の状況

ア 育成医療

身体に障害のある児童、又はこれを放置すると将来障害を残すと認められる児童で確実な治療効果が期待し得るものに対し、医療給付を行った。

給付件数 137 件

疾患別育成医療給付状況

疾患	肢体不自由	視覚障害	聴覚・平行機能障害	音声・言語・そしゃく機能障害	心臓障害	腎臓障害	その他内臓障害
件数	14	5	10	43	30	0	35

イ 養育医療

出生体重が2,000g以下、あるいは生活力が特に希薄で医師が入院養育が必要と認めた未熟児に対し、その養育に必要な医療の給付を行った。

給付件数 40 件

ウ 小児慢性特定疾患

小児慢性特定疾患治療研究事業に基づいて、患者家庭の医療費負担の軽減を図った。

	計	悪性 新生物	慢性腎 疾患	ぜん そく	慢性 心疾患	内分泌 疾患	膠原病	糖尿病	先天性 代謝異 常	血友病 等血液 疾患	神経 ・筋疾 患	慢性消 化器疾 患
件数	112	28	5	3	14	31	2	10	4	8	1	6

エ 小児慢性特定疾患児手帳

手帳の交付を希望した小児慢性特定疾患医療受給者に対して手帳交付を行った。 交付件数 2件

2 母体保護事業

母体の生命健康を保護することを目的とする母体保護法に基づき行った。

(1)人口妊娠中絶(年齢別・在胎週別届出数)

在胎週	年齢	総数	年齢別								
			20歳 未満	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50歳 以上	不詳
総数		432	54	93	81	86	72	40	6	0	0
満7週以前		296	31	62	59	57	48	33	6	0	0
8週～11週		125	20	28	21	29	22	5	0	0	0
12週～15週		7	2	2	1	0	1	1	0	0	0
16週～19週		3	0	1	0	0	1	1	0	0	0
20週～21週		1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
不詳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2)不妊手術届出数

届出件数 0件

333 地域とともに進める福祉社会づくり

33302 地域福祉を支える民間団体等との協働

(主担当:保健衛生室 企画福祉課)

主な取組内容

1. 地域福祉の総合的な推進を図るため、住民が互いに支えあう社会づくりをめざした県および市の社会福祉協議会の事業を支援します。
2. 住民の身近なところでの相談・支援体制を整備するため、民生委員の適正な配置と活動を確保するとともに、民生委員の資質向上のための研修や民生委員協議会活動の促進を図ります。
3. 誰もが、いつでも、どこでも、ボランティア活動に参加できる体制を整備するため、県および市の社会福祉協議会のボランティアセンターの機能強化を進めます。

1 地域福祉

(1) 市社会福祉協議会の活動

社会福祉法の成立により、市社会福祉協議会は、地域福祉の推進を図ることを目的とした団体として明確に位置付けられ、地域福祉権利擁護事業をはじめとする福祉サービスの利用者を支援する新たな役割をはたすこととなった。

今後は、地域住民と地域のあらゆる団体・組織の参画と協働により、地域の福祉ニーズに対して包括的に生活を支援する取り組みや事業を企画・実施し、それを通じて誰もが安心して生活できる福祉のまちづくりが進められる。

社会福祉協議会職員の状況

平成18年4月1日現在

	伊賀市社会福祉協議会	名張市社会福祉協議会
職員総数 (非常勤・臨時職員を含む)	376名	71名

2 民生委員・児童委員

(1) 民生委員・児童委員の定数(平成17年度)

市名	委員定数[うち主任児童委員]
伊賀市	295[30]
名張市	180[16]
計	475[46]

(2) 民生委員・児童委員活動状況 平成17年度活動報告

[]内は主任児童委員(再掲)

		件数
内容別相 談・支援 件数	在宅福祉	3,636 [14]
	介護保険	1,066 [1]
	健康・保健医療	908 [18]
	子育て・母子保健	405 [88]
	子どもの地域生活	1,064 [96]
	子どもの教育・学校生活	687 [171]
	生活費	1,230 [38]
	年金・保険	180 [2]
	仕事	237 [3]
	家族関係	500 [27]
	住居	373
	生活環境	656 [14]
	日常的な支援	2,795 [17]
	その他	3,323 [45]
計	17,060 [534]	
分野別相 談・支援 件数	高齢者に関すること	10,222 [54]
	障害者に関すること	1,371 [22]
	子どもに関すること	2,188 [407]
	その他	3,279 [51]
	計	17,060 [534]
その他の 活動件数	調査・実態把握	8,449 [60]
	行事・事業・会議への参加協力	11,066 [855]
	地域福祉活動・自主活動	17,664 [1108]
	民児協運営・研修	9,640 [862]
	証明事務	1,532 [7]
	要保護児童の発見の通告・仲介	239 [9]
活動日数		59,764 [3462]
訪問回数		74,718 [588]

3 ボランティア活動

民間社会福祉活動の担い手であるボランティアグループは、社会福祉協議会が中心となり数多く結成され活動の輪も広がってきている。

ボランティアスクールが開かれ、それとともにボランティア協議会に結集して連携をもったきめ細かな取り組みが進んでいる。

(1) ボランティア登録の状況 各社会福祉協議会登録数

平成18年4月1日現在

	グループ数(団体)	グループ所属人数	個人(人)
伊賀市	286	7,885	2,409
名張市	97	2,920	364
計	383	10,805	2,773



334 利用者本位の福祉サービスの確保

33403 福祉分野の人材確保・養成

(主担当:保健衛生室 企画福祉課)

(主担当:保健衛生室 健康増進課)

主な取組内容

1. 保健師は、管内市町村保健師と連携をとりながら、地域住民の心身の健康保持、増進、健康の回復、疾病予防を目的とし、家庭訪問、健康相談、健康教育等を実施しています。
2. 県民の要望に応えられる資質の高い保健職員を養成することを目的に、今日的課題に対応するため、地域特性に基づいた実務者研修会を実施します。
3. 看護業務に従事しようとする学生に対して保健福祉事務所(保健所等)実習指導を実施します。

1 保健師活動状況

(1) 管内保健師設置状況

平成18年4月1日現在

区分	市名			
	総数	保健福祉事務所	伊賀市	名張市
設置人員	39	6	21	12

2 教育・研修

(1) 健康づくり研修会

期日:平成17年5月30日
 場所:三重県人権センター
 参加者:県保健師1人

(2) 個人情報保護法に関する研修会

期日:平成17年7月8日
 場所:男女共同参画センター
 参加者:県保健師 2名

(3) 第9回地域保健全国大会

期日:平成17年11月10日 ~ 平成17年11月11日
 場所:三重県営サンアリーナ
 参加者:県保健師 2名

(4) 危機管理体制づくり研修会(第1回・第2回)

期日:平成18年1月11日・2月2日
 場所:県民サービスセンター
 参加者:県保健師 3名

(5) 管内保健師研修会(年2回)

平成17年9月5日(月) 総会 講演「介護保険制度改正の最新情報について」
 講師:三重県長寿社会室 伊藤正美氏
 平成18年1月6日(金) 講演「保健師としてのリスナーについて フォローアップ」
 講師:本田技研工業(株)産業カウンセラー 前田隆司氏



3 看護学生等保健所実習指導

学 校 名	学 生 数	グループ数	実習日数	備考
三重県立看護大学	11	5	7	※
三重大学医学部看護学科	6	2	19	※
三重大学医学部医学科	1	1	2	
鈴鹿医療科学大学医療栄養学科	7	2	10	
上野商業高等学校福祉科	37	1	1	
合計	62	11	39	

※(実習日数に全員オリエンテーション含む)

341 医療提供体制の整備

34101 患者本位の医療の推進

(主担当:保健衛生室 健康増進課)

主な取組内容

1. 地域医療提供体制の整備を図るため、日常の健康管理や適切な初期診療などを身近なところで提供するかかりつけ医の推進を図ります。

1 医務

管内における医療施設及び医療関係者の状況は次のとおりである。
人口10万対病床数、医療関係者数とも三重県平均を下回っている。

(1)施設数

平成18年4月1現在

区分	市名	総数	伊賀市	名張市
病院		7	5	2
一般診療所		125	65	60
歯科診療所		75	36	39
助産所		3	1	2
施術所		97	49	48

(2)病床数(病院、診療所)

平成18年4月1日現在(全国は15年10月1日現在)

	病 院							一般 診療所	率(人口10万対)	
	総数	精神 病床	感染症 病床	結核 病床	一般 病床	療養 病床	その他の 病床		病院	一般 診療所
全 国	1,632,141	354,448	1,773	14,507	919,070	342,343	—	187,894	1,278.9	147.2
三重県	21,463	4,969	20	80	11,410	4,984	—	2,312	1,152.0	124.1
管 内	1,447	410	4	0	838	195	—	161	772.6	86.0

(3)医療関係者数

平成16年12月31日現在

		医師	歯科医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師	准看護師	歯科衛生士	歯科技工士
総数		227	81	234	40	15	822	394	82	21
伊賀市		131	41	149	29	15	505	226	30	15
名張市		96	40	85	11	0	317	168	52	6
率 (人口 10万 対)	全国	211.7	74.6	189.0	30.7	19.8	595.4	302.3	62.4	27.9
	三重県	183.8	55.0	140.7	27.9	11.9	541.8	319.6	59.3	27.1
	管内	123.4	44.0	127.2	21.7	8.2	446.8	214.1	44.6	11.4

○ 医師、歯科医師、薬剤師については登録者の届出数(住所地別)、保健師、助産師、看護師、准看護師、歯科技工士、歯科衛生士については就業届出数。



34103 救急・へき地医療体制の整備

(主担当:保健衛生室 健康増進課)

主な取組内容

1. 地域住民の救急医療を確保するため、伊賀管内の一次救急、二次救急および救命救急医療体制の整備を行います。
2. 救急告示医療機関との連携を図ります。

1 地域救急医療対策事業

伊賀地域内の休日または夜間における急病患者を含む救急医療体制の充実強化を図るため、関係機関等が地域の実情に即応した体制の整備等について協議し、その積極的な推進を図り、地域における救急医療体制及び健康危機管理体制の確保を図るため、検討会等を開催した。

(1)平成17年度伊賀地域小児医療体制検討会

- ア 開催日時 平成17年4月26日(火)
イ 開催場所 伊賀庁舎 4階 中会議室
ウ 出席数 29名

(2)平成17年度伊賀地域小児医療体制検討会作業部会

- 1)第1回 平成17年5月18日 伊賀庁舎4階中会議室 9名
2)第2回 平成17年8月17日 伊賀庁舎4階4・5会議室 8名

(3)平成17年度伊賀地域健康危機管理ネットワーク会議

- ア 開催日時 平成18年2月16日(木)
イ 開催場所 伊賀庁舎 4階 中会議室
ウ 出席数 11名

2 救急告示病院

救急告示病院は、地域における救急業務の対象となる傷病者の発生状況等を勘案して認定する。

(1) 伊賀地域救急告示病院

名称	郵便番号	住所	電話番号	ファックス番号
伊賀市立上野総合市民病院	518-0823	伊賀市四十九町831	24-1111	24-2268
医療法人 岡波総合病院	518-0842	伊賀市上野桑町1734	21-3135	21-5237
医療法人 森川病院	518-0854	伊賀市上野忍町2516の7	21-2425	24-2815
医療法人 佐那具病院	518-0001	伊賀市佐那具町420番地	23-3330	23-3386
名張市立病院	518-0481	名張市百合が丘西1番町178	61-1100	64-7999